

Mémoires 2020

スプリンターズステークス

第54回スプリンターズステークス(GI) 優勝馬 グランアレグリア



圧巻の二階級制覇



▲モズスーパーフレアとピアンフェが引っ張る。4コーナーではグランアレグリアは後方2番手。



▲ふたりのマイルGIを手に入っていたグランアレグリアは、スプリント戦線への越境も成功。

豪快な追い込みで、女王がマイルとスプリントの二階級制覇を成し遂げた。

安田記念でアーモンドアイを降し、桜花賞以来のGI勝ちを果たしたグランアレグリア。しかし、その前走の高松宮記念では後方から猛然と追い込みながら2着に惜敗。スプリントGIの「リベンジ」に挑むマイルの女王が、安田記念以来4ヵ月ぶりの実戦ながら1番人気に推された。

レースは高松宮記念でも逃げて勝利したモズスーパーフレアと、唯一の3歳馬で葵ステークスを逃げ切っているピアンフェによる、激しい先行争いで進んだ。ほぼ並びながら2頭で後続を引き離し、前半の600m通過は32秒8。このハイペースを、セントウルステークス勝ちのダノスマッシュや前年の高松宮記念優勝馬マスターメロディは好位で追走。北九州記念でモズスーパーフレアを差し切ったレッドアンシェルは中団、注目のグランアレグリアはダッシュがつかず、なんと16頭立ての15番手からの競馬となった。

直線に入ると、苦しくなった先行勢に内からマスターメロディが迫っていく。外からはダノスマッシュ。後ろの馬たちも続々とスパートをかけて押し寄せるが、中でもひととき目を引いたのが、外に出されたグランアレグリアの末脚だった。残り200m手前でスイッチが入ると、そこから猛烈な加速で瞬く間に前にいた14頭をごぼう抜きにしてい。最後は突き放し、ダノスマッシュに2馬身差。クリストフルメール騎手がガッツポーズを作りながらゴールするほどの、余裕の勝利となった。

レース後、ルメール騎手は「スタートがゆっくりで、後ろのポジションになって心配しました。ペースが速くて前の馬も止まりましたけど、ゴールまですごくいい脚を使ってくれました」とコメント。そして「今はマイルがベストですが、でもロードカナロアのようにオールマイティーです」と、偉大な名馬の名前を出してパートナーを称えた。

藤沢和雄調教師とルメール騎手のコンビは、前年のタワーオブロンドンに続く連覇。ルメール騎手はこれでちょうどJRA重賞100勝を達成。そして約1年前に死亡した父のディーブインパクトにとっては、これが産駒による初のスプリントGI勝ちとなった。

第54回スプリンターズステークス(GI)

10/4 中山競馬場 1200m(芝・右) 曇・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝	4	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:08.3	①	15/15
2	ダノスマッシュ	牡	5	57	川田 将雅	安田 隆行	2	③	4/4
3	アウシルアウェイ	牝	4	55	松山 弘平	高野 友和	1/2	10	16/16
4	マスターメロディ	牡	5	57	福永 祐一	藤原 英昭	1/2	⑦	7/3
5	クリノガウディー	牡	4	57	三浦 皇成	藤沢 則雄	1	⑨	13/13
6	レッドアンシェル	牡	6	57	M.デムーロ	庄野 靖志	アタマ	④	11/11
7	メイショウグロクック	牝	6	55	浜中 俊	荒川 義之	1/2	12	5/7
8	ダイメイプリンセス	牝	7	55	秋山真一郎	森田 直行	ハナ	15	8/9
9	ライトオンキュー	牡	5	57	古川 吉洋	昆 貢	ハナ	⑥	5/6
10	モズスーパーフレア	牡	5	55	松若 風馬	音無 秀孝	1	②	1/1
11	エイティンガール	牝	4	55	池添 謙一	飯田 祐史	ハナ	⑧	14/14
12	キングハート	牡	7	57	北村 宏司	星野 忍	クビ	16	8/7
13	ダイアトニック	牡	5	57	横山 典弘	安田 隆行	2 1/2	⑤	8/10
14	ダイメイフジ	牡	6	57	菱田 裕二	森田 直行	アタマ	13	11/11
15	ラブカンブー	牝	5	55	斎藤 新	森田 直行	1/2	14	3/4
16	ピアンフェ	牡	3	55	藤岡 佑介	中竹 和也	3	11	2/2

単勝 ⑩220円 複勝 ⑩140円 ③180円 ⑥680円 枠連(2-5)570円
馬連 ③-⑩530円 馬単 ⑩-③790円 ワイド ③-⑩310円 ⑩-⑥2,120円 ③-⑥3,150円
3連複 ③-⑩-⑥10,430円 3連単 ⑩-③-⑥22,540円

ハロンタイム 11.9-10.1-10.8-11.5-11.9-12.1
通過タイム 600m:32.8-800m:44.3-1000m:56.2

優勝馬 グランアレグリア

2016.1.24生 父ディーブインパクト 母タピツフライ 母の父Tapit
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)サンデーレーシング